

平成13年 労働基準法及び労働安全衛生法

〔問 1〕 次の文中の の部分を選択肢の中の適当な語句で埋め、完全な文章とせよ。

1 労働基準法第36条においては、行政官庁は、同条第2項の規定に基づいて定められる基準(労働基準法第36条第1項の協定で定める労働時間の延長の限度等に関する基準)に関し、「第1項の協定をする使用者及び A に対し、必要な B 及び指導を行うことができる」旨定められている。

2 労働基準法第37条の規定に基づき支払うべき時間外、休日及び深夜の割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、 C 、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、1か月を超える期間ごとに支払われる賃金は、算入しなくともよい。

選択肢

- | | | |
|-------------------------|-----------------------|----------|
| ① 援助 | ② 勧告 | ③ 勧奨 |
| ④ 業種の如何にかかわらず | ⑤ 建設業についてのみ | ⑥ 指示 |
| ⑦ 助言 | ⑧ 精皆勤手当 | |
| ⑨ 製造業についてのみ | ⑩ 措置 | ⑪ 特殊勤務手当 |
| ⑫ 特定業種(建設業および造船業)についてのみ | | ⑬ 別居手当 |
| ⑭ 命令 | ⑮ 役付手当 | ⑯ 要請 |
| ⑰ 労働組合 | ⑱ 労働組合又は労働者の過半数を代表する者 | |
| ⑲ 労働者 | ⑳ 労働者の過半数を代表する者 | |